

セミナー開催にあたって

昨年に続き今年も「障害者が語る人権セミナー」を開催する事となりました。今回は大泉洋さん主演で車椅子の障害者である鹿野さんの自立生活を描き大ヒットした映画『こんな夜更けにバナナかよ』の原作者である渡辺一史さんをお招きしました。当時は「わがまま」と言われることもあった、人としての当たり前の欲求や行為が、時を経て街を変え社会を変え、障害者を支える制度さえも生み出してきました。ここ瀬田地域でも30数年より多くの障害者が自立生活を営む中で駅のエレベーター設置運動など行い、誰もが生活しやすい街に変わりつつあると思います。今回のセミナーでは渡辺さんの講演に続き「障害者の『わがまま』が社会を変える」という題で渡辺さんを交え、地域で生きる障害者のトークライブも行います。乞うご期待！

セミナー当日は映画の上映はございません。
事前にレンタルビデオ等で視聴いただきますとより分かりやすく有意義なセミナーになると思いますのでよろしくお願ひします。



会場 瀬田東市民センター
大津市一里山3丁目16-1

会場は駐車場が少ないため、なるべく公共交通機関でお越しください。
(JR瀬田駅より徒歩15分)

渡辺一史さんの紹介

渡辺一史(わたなべ かずふみ)
ノンフィクションライター



1968年名古屋市生まれ。北海道大学文学部を中退後、北海道を拠点に活動するフリーライターに。

2003年刊の『こんな夜更けにバナナかよ』で大宅壮一ノンフィクション賞、講談社ノンフィクション賞を受賞したほか、2018年には大泉洋主演で映画化され話題となる。

また、2011年刊の『北の無人駅から』でサントリー学芸賞、地方出版文化功労賞などを受賞。他の著書に『なぜ人と人は支え合うのか』など。札幌市在住。

映画『こんな夜更けにバナナかよ』あらすじ

札幌で暮らす鹿野靖明(大泉洋)は幼少から難病の筋ジストロフィーを患い、車いす生活。体で動かせるのは首と手だけで、介助なしでは生きられないのに病院を飛び出し、ボランティアたちと自立生活を送っていた。夜中に突然「バナナ食べたい」と言い出すワガママな彼に、医大生ボラの田中(三浦春馬)は振り回される日々。しかも恋人の美咲(高畑充希)に一目惚れした鹿野から、代わりに愛の告白まで頼まれる始末!最初は面食らう美咲だが、鹿野やボラたちと共に時間を過ごす内に、自分に素直になること、夢を追うことの大切さを知っていく。そんなある日、鹿野が突然倒れ、命の危機を迎えてしまう…。

出典: (c) 2018「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」製作委員会

セミナー参加申込先・申込方法

右記までTEL、FAX、メールのいずれかでお願ひします。
会場の都合上、先着150名とさせていただきます。

TEL 077-548-3511
FAX 077-548-3515
E-mail support@je-peux.net

▼FAX 参加申込用紙▼

FAX.077-548-3515

(地域生活サポートセンターじゅぷ 宛て)

お名前

(名)

所属

連絡先
電話

実話にもとづく障害者とボランティアたちの
自立生活を映画化し、昨年大ヒットした

『こんな夜更けにバナナかよ』

原作者 渡辺一史さんと
障害当事者によるトークライブ



参加費無料
定員 先着150名



日時 2019年10月5日(土)

13:30~16:00

会場 瀬田東市民センター

大津市一里山3丁目16番1号

問い合わせ
申し込み先

特定非営利活動法人りあん
(地域生活サポートセンターじゅぷ)

大津市一里山2丁目2番8号

TEL.077-548-3511 FAX.077-548-3515

障害者の『わがまま』が社会を変える

障害当事者が語る人権セミナー 第2弾!

